

短歌 技法②

年 組 名前 ()

10点×10

短歌に使われる技法と、意味の組み合わせが正しくなるよう
カッコにアッコを書き入れなさい。

意味

ア
倒置法

()

似た構成の言葉を並べ、リズムをつくる。

イ
擬人法

()

たとえるときに「ように」
「ようだ」などを用いない。

ウ
対句

()

短歌の基本形式。
三十一音をこの順に並べる。

エ
字余り

()

同じ言葉を繰り返すことで、強調したり、
リズム感を生み出す。

オ
反復法

()

基本の音数より多くする。

カ
体言止め

()

たとえるときに「ように」
「ようだ」などを用いる。

キ
直喩

()

人でないものを人にたとえて表現する技法。

ク
字足らず

()

基本の音数より少なくする。

ケ
隠喩

()

語順を逆にして意味を強める。

コ
五・七・五
七・七

()

文の最期を体言で終わらせることで、
感動を強める。

得点 /100